

## 会 員 各 位

今般、一般社団法人日本自動車工業会（以下、自工会）の大型車メーカー4社で構成する大型車委員会では、大型車の車輪脱落事故が増加傾向にある状況を受け、従来の啓発活動に加え、ナットの緩み点検が容易にできるよう、国土交通省と連携して『連結式ナット回転指示インジケータ』を活用した取り組みを進める旨、プレスリリース（別添1参照）されたことと、当該インジケータの使用方法や注意点等をまとめたチラシ（別添2参照）を作成されましたのでお知らせいたします。

今後、整備事業場に大型車両が入庫した際に当該インジケータが左後輪に装着されているケースもありますことから、以下のチラシ（別添2参照）ご覧いただきますようお願いいたします。

### <別添資料>

- 別添1：大型4社、大型トラックの車輪脱落事故防止対策を協調して対応（自工会プレスリリース）

[http://release.jama.or.jp/sys/news/detail.pl?item\\_id=1936](http://release.jama.or.jp/sys/news/detail.pl?item_id=1936)

- 別添2：連結式ナット回転指示インジケータの取扱い（自工会ホームページ）

[http://www.jama.or.jp/user/fall\\_off\\_wheel/car/index/indicator.pdf#view=Fit](http://www.jama.or.jp/user/fall_off_wheel/car/index/indicator.pdf#view=Fit)

【参考】今回、装着されます「連結式ナット回転指示インジケータ」は基本的に車輪脱落事故が集中する左後輪に取り付けられます。また、今後、「連結式ナット回転指示インジケータ」大型メーカー各社の販売店で販売する予定です。